

不祥事ゼロに向けた取組【一人一人が「自分事として考える」】R.6.8.9

(文責 大子町立生瀬小中学校長 後藤 順子)

学校は児童生徒にとって多くのことを学ぶ大切な場所です。そのため、児童にとって安全・安心な場所ではなくてはなりません。私たち教職員は、教育活動は、児童生徒や保護者、地域の皆様の信頼のもと成り立つものと考えています。

しかし、日々の報道でもあるように教職員の不祥事が続いています。本校では、このことを他山の石とせず、すべての教職員が、不祥事を自分事としてとらえ、自分の行動が教育全体に影響することを強く意識し、不祥事ゼロに向けて、行動していきます。

1 コンプライアンス研修年間計画

生瀬小学校コンプライアンス職員研修年間計画	
4月 服務規定について	11月 わいせつ行為等の根絶
6月 交通違反について	12月 飲酒運転の根絶
7月 盗撮事案について	1月 体罰・不適切な指導の根
9月 公金等の不適切な処理の根絶	2月 個人情報漏洩等の未然防止
10月 不祥事の未然防止について	3月 次年度に向けての取組

2 コンプライアンス研修の様子



メディア講演会



職員研修



日常の中での研修

3 研修資料

One IBARAKI 第14号 第15号

4 教職員の意見等（7月の「盗撮事案について」の研修後の意見等）

- ・児童の健全な育成を担う教職員として、盗撮は、あってはならないこと。研修から、盗撮の8割が、携帯電話を使っているとのこと。授業中、携帯電話を持ち込まないことが大切である。
- ・今のカメラは、小型化していて、気づきにくい。盗撮は犯罪であることや、絶対にしてはいけないことであるということを、全職員で認識することが大切である。
- ・盗撮は重大な犯罪であるが、誰にでもできてしまい、エスカレートする行為である。チェックシート等で自己の意識を確認していきたい。

5 不祥事ゼロに向けた本校の対策内容

- ・毎月、コンプライアンス研修を行い、週2回の情報交換を行っている。情報交換の時間では、小さな違和感やさまざまな課題を共有し、未然防止・早期発見につなげている。
- ・使用後の特別教室等は、必ず施錠し、安全点検では、不審物に気を付けている。全職員が、高い意識で、施設管理を行っている。